

丹沢大山 自然再生の現場から 林業の今

2008年11月14日（金） 18時30分から20時30分

横浜市開港記念会館（県庁本庁舎筋向かい：ジャックの塔の建物）

主催：NPO 法人神奈川県自然保護協会 後援：丹沢大山自然再生委員会 神奈川県（予定）

丹沢山地の自然の衰退は、ブナ枯れのように標高の高いところの自然林で起こっていることが人々の関心を集めています。

しかし、広い面積を占め、水源涵養の働きを見ても大きな役割を担っているスギやヒノキの林＝人工林の荒廃を無視するわけにはいきません。

人工林は木材供給だけでなくキノコなど林産物の提供を通して私たちの生活にも繋がっています。このような森林は担い手がなくなり荒廃が進むところがある一方、先進的な手法で斬新な取り組みをしているところもあります。

人工林の現状を知り、丹沢再生のこれからを考える集いしたいと思います。

次 第

受付開始 18時00分 開会 18時30分

開会挨拶 新堀豊彦 神奈川県自然保護協会理事長

講演 神奈川の森林・林業の現状と森林再生50年構想について

矢崎英敏氏 神奈川県環境農政部森林課技幹

講演 神奈川県有林の取り組み

小宮芳男氏 神奈川県自然環境保全センター県有林部部長

講演 民間の取り組み

今井 栄氏 秦野市森林組合専務理事

質疑・討論（司会）片桐務 神奈川県自然保護協会理事

閉会挨拶 木平勇吉 丹沢大山自然再生委員会 委員長

閉会 20時30分